

press release

# 北斎



## の富士

Mt-Fuji by Hokusai

148点の富士、  
一堂にそびえ立つ!

### 富嶽三十六景と富嶽百景

Thirty-six Views of Mt-Fuji and One Hundred Views of Mt-Fuji

2016年1月2日(土) - 2月14日(日)

『富嶽三十六景』より《凱風快晴》、《相州梅澤左》、《江都駿河町三井見世略圖》(3点とも部分)  
文政(1818~30)末~天保(1830~44)前期

**前売販売スタートしました!**

会 期:平成28(2016)年  
1月2日(土)~2月14日(日)  
**会期中無休**

開館時間:9:00~17:00  
※金曜日は19:00まで  
※入館は閉館30分前まで

料 金:一般 1100円 (900円)  
高・大学生 700円 (500円)  
小・中学生 400円 (200円)  
※( )内は前売・20名以上の団体料金



- JR広島駅より約1km ●広島城より約400m
- 市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車20m
- ひろしまめいぶる〜ぶ(市内循環バス、JR広島駅新幹線口のりば発着)「県立美術館前」下車(白島線沿い)



名勝「縮景園」とともに歩む アートの杜  
**広島県立美術館**  
Hiroshima Prefectural Art Museum



## 【展覧会概要】

葛飾北斎(1760-1849)は、90歳で没するまでの約70年にわたり、常に新たな様式に挑戦し続けた画人です。北斎の名を不動にしたのは、全作品に富士をあしらい、名所絵(風景画)というジャンルを定着させる要因となった『富嶽三十六景』の存在です。また、その刊行後には、風景ばかりでなく故事説話も取り入れ、確かな描画力を示した『富嶽百景』を完成させています。本展では、この二大連作『富嶽三十六景』、『富嶽百景』全148点に関連作品などを加えた159点を紹介します。北斎芸術の真骨頂をご覧ください。

## 【展覧会のみどころ】

稀代の絵師・葛飾北斎(1760-1849)の代表作『富嶽三十六景』。本シリーズでは、眺める場所や季節、天候によって見え方が多彩に変貌する富士の姿が描かれています。高層建築というものが無かった当時、江戸の至る所から見えるその泰然と屹立した富士の相貌に、人々は強い親近感を覚えていました。

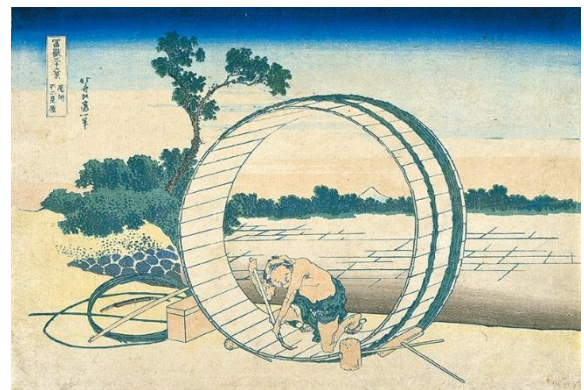
『富嶽三十六景』のうちの1点《諸人登山(もろびととざん)》には、富士山への信仰心を持つ人々が集まり、集団で富士に登拝する「富士講」の様子が描かれていると云われています。この『富嶽三十六景』が生まれた時代は、泰平の世が続いた江戸後期。五街道や宿場町の整備が進み、花見や名所めぐりなど、庶民はより四季折々の行楽を楽しむようになりました。江戸の町で流行したこの「富士講」も単純に信仰心だけに依るものではなく、富士への登山が行楽として楽しまれていたことを示しています。

版元の西村永寿堂は、そうした時代の潮流も鑑みて、北斎に富士の連作を描くよう依頼。西洋から輸入されたばかりのベロ藍(=プルシアンブルー)という顔料を用いることで、清々しい青色が印象的な『富嶽三十六景』という名作が生まれました。他方、錦絵である「三十六景」の完成後に冊子本として制作された『富嶽百景』では、墨の濃淡を見事に使い分け、富士誕生の神話的場面から始まり、花鳥画から故事人物画まで、様々な趣向をこらした富士の姿が表現されています。

なお、北斎は若い頃から高い評価を得ていたにも関わらず、『富嶽百景』の初編跋文(ばつぶん)のなかで自作について「七十年前画く所(=70歳以前に描いたもの)は実に取に足ものなし」と述べています。本展では、『富嶽三十六景』と『富嶽百景』という、齢70を越えた円熟期の北斎による二大連作を一挙まとめて展示するという珍しい趣向となっています。唯一無二の北斎の不二、ぜひその眼でご覧ください。



『富嶽三十六景』より《凱風快晴》  
文政(1818~30)末~天保(1830~44)前期



『富嶽三十六景』より《尾州不二見原》  
文政(1818~30)末~天保(1830~44)前期



『富嶽三十六景』より《諸人登山》  
文政(1818~30)末~天保(1830~44)前期



『富嶽百景』より《登龍の不二》天保6(1835)年

## 【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。

※画像については提供が可能です。ご掲載の際に画像がご入り用の場合は、当館までお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館までご提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。ご了承ください。

## 【関連イベント】

### 記念講演会「世界を驚かせた北斎」(共催 広島県立美術館 友の会)

日時:1月11日(月・祝) 13:30~15:00(開場30分前)

講師:浦上 満(浦上蒼穹堂代表、国際浮世絵学会常任理事)

会場:地階講堂

定員:200名(先着順)

※聴講無料、申込不要。

### ワークショップ「私の富士さん」(協力 泉美術館)

切り絵をカーボン紙とばれんで摺って着色し、富士山を取り入れたあなただけの版画を制作しましょう。

日時:1月23日(土)13:30~15:30

講師:松尾真由美(広島市立大学芸術学部講師)

対象:全年齢(小学生以下は保護者同伴)

会場:地階講堂

定員:20名(先着順)

※要事前申込(当館へ電話申込)。参加費無料。

### ギャラリートーク

日時:毎週金曜日11:00~

講師:当館学芸員

会場:3階企画展示室

※入館券が必要です。申込不要。会場入口でお待ちください。

### ウェブ・レポーター大募集

日時:1月15日(金)17:00~18:30

受付場所:3階ロビー

実施場所:3階展示室内

対象:ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックなどのSNSにて情報発信をされている一般の方  
(参加者は、実施日時に関り本展にご招待)

## 【お正月特典！】

### 和装来館割引

新春の晴れ着姿はとっても素敵！着物で来館のお客様はとってもお得！

当日料金より200円引きでご鑑賞いただけます。

日時：1月2日（金）～2月14日（日）9:00～16:30

場所：広島県立美術館1階受付

※金曜日は18:30まで

## 【同時開催】(2階展示室)

2016年1月10日(日)～2016年4月10日(日) 形と彩の前衛 一高橋秀を中心に

2016年1月10日(日)～2016年4月17日(日) 北斎の富士展開催記念展示 絶景かな絶景かな

## 【開催概要】

展覧会名称：北斎の富士 富嶽三十六景と富嶽百景

展覧会英語名：Mt.Fuji by Hokusai : Thirty-six Views of Mt.Fuji and One Hundred Views of Mt.Fuji

料金：一般 1,100(900)円 高・大学生700(500)円 小・中学生400(200)円

※( )内は前売り・20名以上の団体料金

・学生券をお求めの際は学生証のご提示をお願いします。

・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額です。

前売券販売所：

広島県立美術館、セブン・イレブン(セブンコード：<http://7ticket.jp>)、広島市・呉市内の主なプレイガイド・画廊・画材店、ゆめタウン、フジ、中国新聞社読者広報部、中国新聞各販売所(取り寄せ)など

開催クレジット：

主催 広島県立美術館、イズミテクノ、広島ホームテレビ、中国新聞社

後援 中国放送、広島テレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz

協賛 広島県信用組合

企画協力 アートワン

問い合わせ先：

広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22 TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail. [ke.yamamoto@nomura-g.jp](mailto:ke.yamamoto@nomura-g.jp) (山本宛)

担当 学芸課 山下寿水、事業推進課 山本恵子